

こっこめ通信 07 2015

「島にはたくさんいます」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

6月8日に関東甲信地方の梅雨入りが発表され、長い梅雨が始まりました。八丈島では梅雨入り発表前から毎日のように雨が降り、水の必要な生きものたち（今月紹介している生きものも）は喜んでいることでしょう。

ジメジメと言えばキノコ。今年度も植物公園内で光るキノコ無料観察会が開催されることになりました。開催日程や集合場所・時間などの詳細は最後のページ、またはビジターセンターのホームページをご覧ください。

さて、今回は、「島の蚊は大きいの?」「八丈島のカタツムリ」のお話です。

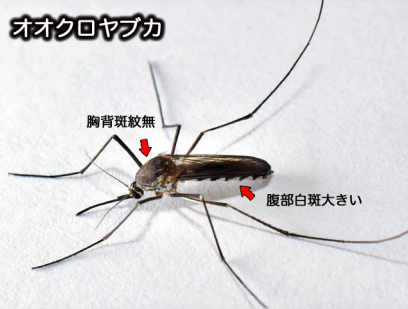
島の蚊は大きいの?

暖くなると発生する蚊の仲間。八丈島は冬でも気温が下がりにくいこともあり、早い時期から蚊が出現します。特に今頃の時期は蚊の数も多くなり、公園内を歩くとたくさんの蚊が寄ってきます。小さなお子さんは蚊に刺されやすいのか、何ヵ所も刺されて、ビジターセンターに逃げ込んでくるのがよくあります。蚊に刺された所が大きく膨れるため、「八丈島の蚊は違うんですか?」と質問されることもあります。特に違いはありません。

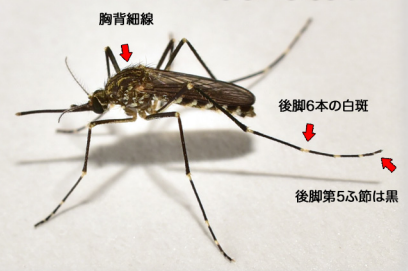
ヒトスジシマカ



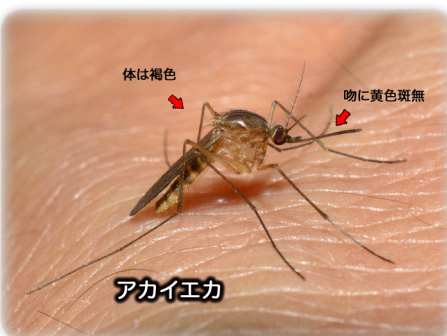
オオクロヤブカ



トウゴウヤブカ



アカイエカ



葛西重雄(1968)八丈島動植物総目録によると 八丈島で記録されているのは、「アカイエカ」「コガタアカイエカ」「ヒトスジシマカ」「オオクロヤブカ」「シナハマダラカ」の5種類。その後「トウゴウヤブカ」が記録され、現在は6種になっています。その中でよく刺される4種を紹介します。

「アカイエカ」は早い時期から姿を現します。全体が褐色なので刺さないような気がしますが、吸血します。胸背に1本の白い線が特徴の「ヒトスジシマカ」が一番多く、よく刺します。すばしっこく、捕まえるのが難しいですね。「トウゴウヤブカ」の幼虫は潮だまりなどにも棲むことができ、海岸近くに多い蚊です。「オオクロヤブカ」は他の蚊に比べてとても大きく(写真左3段目)、園内でも見られるため、この蚊を見た人が、島の蚊は大きいと感じたのかもしれませんが。

八丈島は雨が多く、樹の洞や岩の上など水の溜まる場所が多くあります。そのような場所にボウフラと呼ばれる幼虫やオニボウフラと呼ばれる蛹(写真左4段目)がいる為、防ぐことは困難です。八丈島にお越しの際は、虫除けスプレーや虫さされの薬は必需品です。お持ちください。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島のカタツムリ

八丈島では6月に入ってから、ほぼすべての日で降水が記録されています。そんな雨を喜んでいるカタツムリたち。雨で濡れた道には、こんなにもたくさんのカタツムリがいたのか？とビックリしてしまうほど歩いています。いろいろなカタツムリが出てくるのだから、観察するチャンスですね。道路だけではなく、葉っぱの上や木の幹、落ち葉の下にもたくさんいるはずですよ。のんびりと歩いてくれるカタツムリをじっくりと観察してみましょう。ちなみに、カタツムリもナメクジも軟体動物で、海に棲む巻貝と同じ仲間なのです。

八丈島のカタツムリはどのように島に辿り着いたのでしょうか？最近では在来種ではない、園芸種とともに入り込んだと思われる外来種も増えつつあります。そこで八丈島で見られるカタツムリを少し紹介します。



《外来種》

シモダマイマイ

殻は右巻きで、殻径が35mm前後の大型種。ミスジマイマイの亜種で、伊豆半島、伊豆諸島北部に分布しています。以前は島にいませんでしたが、現在は人家や畑などで普通に見られるようになっています。



《外来種》

オオシママイマイ

殻は右巻きで、殻径が35mm前後の大型種。殻の高さはシモダマイマイに比べると高く、色は赤栗色。軟体部はやや黒く、黒い斑があります。本来は奄美諸島に分布する種ですが、最近島でも増えてきています。



《在来種・一部外来種？》

ウスカワマイマイ

殻は右巻きで薄く、殻径は20mm前後の中型種。殻が薄いため、軟体部の黒斑が透けて見えます。畑の葉物を食べてしまう迷惑者。在来種ですが、一部外来種が入り込んでいるのではないかとされています。



《外来種》

ヒダリマキマイマイ

殻は左巻きで、殻径が45mmにもなる大型種。島の中のいわゆるカタツムリ型で左巻きなのは、この種だけです。今では全島で見られる外来種ですが、古くは1985年に採集された記録が残っています。



《在来種》

ハチジョウノミギセル

殻はキセル型の左巻き、殻高10mmの小型種。米国のPilsbryが八丈島で採集した種から新種記載しています。三宅・御蔵・八丈・八丈小島・青ヶ島にだけ生息しています。最近少なくなってきています。



《在来種》

ヒロクチコギセル

殻はキセル型の左巻き、殻高9mmの小型種。本州・四国・九州と分布域は広く、伊豆諸島でもすべての有人島（+八丈小島）や小笠原諸島で記録されています。樹上性で樹の洞などで普通に見られます。



《在来種？帰化種？》

ウジグントウギセル



《在来種》

オナジマイマイモドキ



《外来種》

コハクオナジマイマイ



《在来種・特産種》

ナカダコギセル



《外来種》

アズキガイ



《在来種》

ヤマボタルガイ



《在来種・特産種》

ハチジョウキビガイ



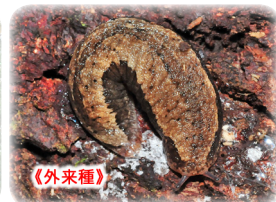
《在来種》

ツバキカドマイマイ



《在来種・特産種》

ハチジョウヒメベッコウ



《外来種》

ヤマナメクジ

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は6月14日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成27年第6回)参加者・青木、青木、矢野、沖山、VC 菊池

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			32	ヘラバヒメジョオン	花	シダ植物		
1	アオツツラフジ	花	33	ママコノシリヌグイ	花	1	オオイタチシダ	
2	アオノクマタケラン	花	34	ミツバ	花	2	オオタニワタリ	
3	イガガヤツリ	実	35	ヤブガラシ	花	3	オニヤブソテツ	
4	ウスベニニガナ	花	36	ヤマカモジグサ	実	4	カニクサ	
5	ウラジロチチコグサ	花	37	ヤマヌカボ	実	5	タチクラマゴケ	
6	オオアレチノギク	花と実	木本			6	タチシノブ	
7	オオバコ	花と実				7	タマシダ	
8	オニタピラコ	花と実	1	アカメガシワ	若い実	8	ノキシノブ	
9	カタバミ	花と実	2	イタビカズラ	実	9	ハカタシダ	
10	カニツリグサ	実	3	イヌビワ	実	10	ハチジョウカナワラビ	
11	キランソウ	花	4	オオシマザクラ	実が残る	11	ハチジョウシダ	
12	クサイ	実	5	オオバヤシャブシ	実	12	ヒトツバ	
13	ケキツネノボタン	花と実	6	オオムラサキシキブ	花	13	ホシダ	
14	コケミズ	花	7	ガクアジサイ	花	14	マツバラン	
15	コナスビ	花と実	8	サカキカズラ	蕾	15	マメツタ	
16	コモチマンネングサ	花	9	スダジイ	実の虫こぶ	今回は、シダ植物 15 種を含む 75 種の植物を観察しました。天気が悪く早めに切り上げたためか、草本植物の種数が少ない結果となりました。		
17	シチトウスミレ	実	10	タイミンタチバナ	実			
18	シマササバラ	咲き残り	11	テイカカズラ	花			
19	シロバナマンテマ	実	12	トベラ	実			
20	タチスズメノヒエ	実	13	ハゼノキ	実			
21	ツメクサ	花と実	14	ハチジョウキブシ	実			
22	テリハノブドウ	若い実	15	ヒサカキ	若い実			
23	トウバナ	花と実	16	ヒメユズリハ	若い実			
24	ナギナタガヤ	花	17	ハウライカズラ	蕾			
25	ニワゼキショウ	実	18	ホルトノキ	蕾			
26	ネジバナ	花	19	マサキ	花			
27	ハハコグサ	花	20	モチノキ	実			
28	ヒナギキョウ	花と実	21	モッコク	蕾			
29	ヒメクグ	実	22	ヤブニッケイ	花			
30	ヒメヨツバムグラ	実	23	ヤマモモ	実が残る			
31	ベニバナボロギク	花						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、絶滅が心配されている「ハチジョウキセルガイモドキ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウキセルガイモドキ *Yakuena hachijoensis*

柄眼目ミキセルガイモドキ科の陸産貝類。八丈島・八丈小島だけ分布し、ガクアジサイの幹から多数の個体が得られたこともありますが、近年は確認されていません。殻高 12mm 前後、殻径 5mm、7 層の右巻き。【環境省レッドデータブック絶滅危惧Ⅰ類】

2015 7 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		1 04:23 11:20 18:12 23:35	○ 2 05:05 12:00 18:51	3 05:47 00:17 19:31 12:40	4 ガイドウォーク 06:31 00:59 20:10 13:22
5 ガイドウォーク 07:17 01:44 20:30 14:04	6 08:07 02:32 21:31 14:47	小暑 7 09:02 03:25 22:14 15:32	8 10:07 04:26 23:00 16:20	● 9 11:31 05:36 23:52 17:17	10 13:15 06:53 18:29	11 ガイドウォーク 00:52 08:06 14:56 19:57
12 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 01:55 09:09 16:08 21:16	13 02:54 10:00 17:01 22:17	14 03:45 10:45 17:42 23:04	15 04:31 11:25 18:18 23:44	● 16 05:13 12:02 18:51	17 05:51 00:19 19:21 12:36	18 ガイドウォーク 光るキノコ観察会 06:27 00:52 19:49 13:08
19 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」 光るキノコ観察会 07:03 01:24 20:16 13:38	20 ガイドウォーク 光るキノコ観察会 07:38 01:58 20:44 14:08	21 08:16 02:34 21:13 14:38	22 08:59 03:16 21:44 15:10	大暑 23 09:52 04:06 22:21 15:45	24 ● 11:06 05:09 23:06 16:30	25 ガイドウォーク 八丈学講座 「川の生きもの観察会」 12:51 06:24 17:36
26 ガイドウォーク 光るキノコ観察会 00:05 07:40 14:35 19:11	27 光るキノコ観察会 01:14 08:42 15:44 20:41	28 02:18 09:33 16:33 21:46	29 03:14 10:19 17:15 22:36	30 光るキノコ観察会 04:05 11:02 17:53 23:20	31 夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」 光るキノコ観察会 04:53 11:44 18:30	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
7/12（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」

恒例の夜の昆虫観察会！植物公園内で夜に活動する昆虫を探して観察します。
7/19（19:30～ 約1時間半） 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：20名

八丈学講座 「川の生きもの観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、ホテル水路周辺で川に棲む生きものを探して観察します。
7/25（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
鴨川ホテル水路集合・解散 参加費：50円 定員：15名

夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」

潮だまりに棲む生きものを採集してみんなで観察します。濡れても良い格好で！**サンダルは不可**
7/31（10:00～ 約2時間） 小学生と保護者
現地集合・解散（当日決定） 参加費：50円 定員：15名

夏休み特別行事 「光るキノコ無料観察会」

7/18～8/31の月・木・金・土・日曜日 植物公園メインエントランス集合 **無料**
（7/21, 22, 23, 24, 25, 28, 29, 8/4, 5, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 18, 19, 25, 26は休止）
受付時間：19:20～20:00 **受付の最終締切は20:00です。**
NPO法人八丈島観光レクリエーション研究会等のボランティアガイドがご案内いたします。

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2015.7.1 第170号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

植物公園内で目立つ大きなカタツムリはシモダマイマイとヒダリマキマイマイとウスカワマイマイ。探すとハチジョウノミギセルやヒロクチコギセルなどが見つかります。雨上がりのカタツムリ探しはおもしろいですね。（高）